

## 「地球温暖化対策」 関連情報

—テーマ別文献目録— No. 38

2008.6.6 発行



神奈川県立川崎図書館

〒210-0011

川崎市川崎区富士見 2-1-4

TEL:044-233-4537

FAX:044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp>

このところ地球温暖化に関するニュースに接しない日がありません。IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第4次報告書は、地球温暖化が人間活動に起因する現象である可能性が高いことを確率的に示しました。

温室効果ガスの一つである二酸化炭素は、いったん大気に放出されると5年から200年は大気の中に存在し続けます。CO2削減は重要な課題で、政府機関ばかりでなく、地域、企業、学校、個人などあらゆる所で取り組んでいます。また、日本が議長国となる7月の北海道洞爺湖サミットでは、気候変動などの環境問題が主要議題となります。

この目録では、はじめに2005年以降発行の関連所蔵図書を紹介し、さらに2008年3月以降発行で、当館が所蔵している雑誌の中から「地球温暖化対策」についての文献を掲載します。インターネット情報も一部付記しております。



## ☆ 図書

環境・資源・エネルギー問題解決のための独創エネルギー工学 西澤潤一編著  
講談社 2008.1

<501.6/452(環境クラスタ8 新エネルギー)>

地球温暖化:この真実を知るために(ニュートンムック) 西岡秀三監修  
ニュートンプレス 2008.2

<451.85/88(環境クラスタ1 地球環境)>

さらに進む地球温暖化(ウェッジ選書28) 住明正著  
ウェッジ 2007.6

<451.85/81(環境クラスタ1 地球環境)>

IPCCの歴史、第4次報告書について紹介しています。著者は地球シミュレータを使っての温暖化予測について執筆しています。この報告書に

関する日本の貢献についても頁を割いていますが、国際活動の舞台裏についても、興味深く読むことができます。

不都合な真実 アル・ゴア 著  
ランダムハウス講談社 2007.1

<519/742(環境クラスタ1 地球環境)>

映画で使用した資料を含め、ゴア氏が30年かけて集めた地球環境問題に関する図版や写真、メッセージが満載です。ご存知のように、著者は2007年、ノーベル平和賞を受賞しています。

現場で使える環境法 見目善弘著  
産業環境管理協会 2008.2

<519.12/64(環境クラスタ5 環境政策)>

省エネルギー法や地球温暖化対策推進法等が改正されていますが、これらの動向を把握し、環

境法令体系全体を理解するのに適しています。

**環境対応進化する自動車技術** 小林英夫, 大野陽男, 湊清之編著  
日刊工業新聞社 2008.2  
<537/94>

燃費向上、CO<sub>2</sub> 削減を目指してしのぎを削る自動車技術開発に加え、社会システムとして、道路渋滞の解消、車検制度やリサイクルなども取り上げています。

**キャップ・アンド・トレード: 排出権取引を中心とした環境保護の政策科学(立命館大学叢書・政策科学7)** 高尾克樹著  
有斐閣 2008.1  
<519.1/266(環境クラスタ5 環境政策)>

**新・環境学 I: 現代の科学技術批判** 市川定夫著  
藤原書店 2008.3  
<519/946(環境クラスタ1 地球環境)>

**地球大異変 part2 温暖化危機(別冊日経サイエンス 158)** 日経サイエンス編集部編  
日経サイエンス 2007.11  
<450.98/8/2>

「温暖化で凶暴になる台風」、「太陽光レーザーが拓くマグネシウム社会」など、「日経サイエンス」に2002年11月から2007年11月に掲載した地球環境関連の論文を、新しい視点から、編纂・再録しています。

**+6°C 地球温暖化最悪のシナリオ** マーク・ライナス著 寺門和夫翻訳・監修  
ランダムハウス講談社 2008.1  
<451.85/87(環境クラスタ1 地球環境)>

1度～最悪のシナリオである6度まで。1度刻みで、世界の平均気温が上昇した場合、地球上で何が起きるか。過去の歴史、古気候学、最新の研究結果を踏まえて描いていきます。

**地球温暖化とエネルギー: 持続可能な社会に向けた衡平な負担 対外報告**  
日本学術会議エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会 2007.3  
<501.6/436>

**環境化学の事典** 指宿堯嗣, 上路雅子, 御園生誠編

朝倉書店 2007.11

<519.03/33> (貸出不可)

「化学の立場で環境問題の全体を正しく理解し、さらに、その解決に本当に役立つ化学技術を創出する」との方針の下、第一線の研究者が執筆しています。

地球のシステムと環境問題、資源・エネルギーと環境、大気環境と化学、環境の保全と化学等々の章立てで、各項目の記載が1～2頁の構成です。

**地球環境キーワード事典** 地球環境研究会編  
5訂

中央法規出版 2008.3

<519/27/2008> (貸出不可)

テーマ編、用語編に分かれています。テーマ編では地球環境問題の全容をわかりやすく説明しています。

**地球環境辞典** 丹下博文 第2版  
中央経済社 2007.10

<519.03/32> (貸出不可)

**資源エネルギー年鑑 2007-2008**

通産資料出版会 2007.8

<501.6/73> (貸出不可)

**環境・循環型社会白書** 環境省編  
ぎょうせい

<519/430(1F 白書コーナー)>

**エネルギー白書** 経済産業省編  
山浦印刷出版部

<501.6/1(1F 白書コーナー)>

**国土交通白書** 国土交通省編  
ぎょうせい

<510.92/6(1F 白書コーナー)>

**地球白書: ワールドウォッチ研究所**

ワールドウォッチジャパン

<519/36(環境クラスタ1 地球環境)>

**地球環境学:地球環境を調査・分析・診断するための30章(地球学シリーズ1)** 松岡憲知等編  
古今書院 2007.4  
<519/928(環境クラスタ1 地球環境)>

**地球の環境と化学物質** 安原昭夫, 小田淳子著  
三共出版 2007.9  
<519/936>

**温対法と省エネ法の原単位問題:「全電源平均」と「火力平均」** 田中俊六著  
オーム社 2007.4  
<451.85/79>

**地球温暖化の現場から** エリザベス・コルバート著  
オープンナレッジ 2007.2  
<451.85/72(環境クラスタ1 地球環境)>  
著者は「ニューヨーカー」誌記者。アラスカ、シベリア、オーストラリア、南アフリカなど多くの取材によって、「危機的な状況」を詳述しています。科学記事普及協会から受賞。

**新・地球環境ビジネス** エコビジネスネットワーク編著  
産学社 2007.4  
<519/84/2007(環境クラスタ1 地球環境)>  
編著者は環境ビジネスのシンクタンクです。各分野、各企業の環境ビジネスを概観するのに適した書です。

**環境化学(わかる化学シリーズ6)** 齋藤勝裕, 山崎鈴子著  
東京化学同人 2007.4  
<519/929(環境クラスタ1 地球環境)>

**化学環境学(化学の指針シリーズ)** 御園生誠著  
裳華房 2007.9  
<519/942(環境クラスタ9 環境教育)>

**新エネルギー最前線:環境調和型エネルギーシステムの構築を目指して(化学フロンティア17)**  
吉川暹編  
化学同人 2006.9  
<501.6/393>

**環境修復の技術:地域環境科学からのアプローチ** 東京農業大学地域環境研究所編  
東京農業大学出版会 2007.7  
<519/934(環境クラスタ1 地球環境)>

アフリカ砂漠化地域の緑化と農業・農村開発などを紹介しています。

**地球温暖化の科学** 北海道大学大学院環境科学学院編  
北海道大学出版会 2007.3  
<451.85/83(環境クラスタ1 地球環境)>  
気温上昇は高緯度ほど大きいという危機感をもって取り組んでいる、当大学院教育を体系化する目的で作成しています。

**温暖化の世界地図** カースチン・ダウ, トーマス・E.・ダウニング著  
丸善 2007.5  
<451.85/80>

温暖化リスク評価の第一人者、ダウニング等の著書(2006)の日本語訳。多岐にわたる現状や取り組みを地図上でビジュアルに示しています。一方、用語の定義や出典も明記しています。

**地球温暖化は本当か?:宇宙から眺めたちよっと先の地球予測(知りたい!サイエンス)** 矢沢潔著  
技術評論社 2007.1  
<451.85/63(環境クラスタ1 地球環境)>  
温暖化一辺倒ではない科学者・研究者も紹介しながら、ジャーナリスティックな視点で書かれています。案外よく借りられている図書です。

**ヒートアイランド現象の実態把握及び対策評価手法に関する調査報告書 平成18年度**  
環境情報科学センター 2007.3  
<519/943>

**異常気象:地球温暖化と暴風雨のメカニズム** マーク・マスリン著 三上岳彦監修  
緑書房 2006.9  
<451/63>

地球温暖化現象や異常気象について、豊富なカラー図版を使って説明しています。「わたしたちは温暖化に対して何ができるのか?」具体的なメッセージを伝えています。

**北極圏のサイエンス:オーロラ、地球温暖化の謎にせまる** 赤祖父俊一著

誠文堂新光社 2006.12

<451.85/69(環境クラスタ1 地球環境)>

著者はオーロラ研究の世界的権威。北極圏の九不思議から説き起こし、地球温暖化問題の鍵をにぎる北極圏研究へと進みます。写真も多く、わかりやすく書かれています。

**省エネ・温暖化対策の処方箋:大気の熱でお風呂を沸かし、冷暖房する「ヒートポンプ」の底力**

坂本雄三編著

日経BP企画 2006.6

<533/14(環境クラスタ4 循環型社会)>

**カーボンリスク:CO<sub>2</sub>・地球温暖化で世界のビジネス・ルールが変わる** 末吉竹二郎, 井田徹治著

北星堂書店 2006.7

<519.13/179(環境クラスタ5 環境政策)>

**子どもたちに語るこれからの地球** 日高敏隆, 総合地球環境学研究所編

講談社 2006.7

<519/721(環境クラスタ1 地球環境)>

総合地球環境学研究所の研究者が生態学、気候学、農学、地理学などの専門分野を活かして、地球環境問題について解説した本です。

子どもたちに語るべき内容は多面的で、複雑ですが、簡潔にまとめられています。

**国際エネルギー・レジーム:エネルギー・地球温暖化問題と知識** 松井賢一著

エネルギーフォーラム 2006.2

<501.6/386(環境クラスタ8 新エネルギー)>

エネルギー・地球温暖化問題を社会科学的な切り口で分析した本です。エネルギー観、国際的な制度の設立、日本のエネルギー政策史などが盛り込まれています。

**京みやこの環境共生推進計画:環境への負荷の少ない**

持続可能なまち「環境共生型都市・京都」を目指して

京都市 2006.8

<519.1/234(環境クラスタ5 環境政策)>

**アマゾンで地球環境を考える (岩波ジュニア新書 516)** 西沢利栄著

岩波書店 2005.8

<519>1階入門コーナー

世界に3つある熱帯雨林の中で、最大のアマゾンを紹介しています。熱帯雨林地域が、生物の多様性、気候・水文環境、地球温暖化などの面で、人類にとって重要な地域であることを、多くの経験談を交えながら読者に示してくれます。

**地球温暖化対策:排出権取引の制度設計** 西條辰義編著

日本経済新聞社 2006.1

<519.1/240(環境クラスタ5 環境政策)>

**気候大異変:地球シミュレータの警告(NHKスペシャル)** 日本放送協会, 江守正多編著

日本放送出版協会 2006.11

<451.85/71(環境クラスタ1 地球環境)>

**ピーク・オイル・パニック:迫る石油危機と代替エネルギーの可能性** ジェレミー・レグット著

作品社 2006.9

<501.6/410(環境クラスタ8 新エネルギー)>

**図解でわかる京都議定書で加速されるエネルギービジネス** 井熊均編著

日刊工業新聞社 2006.2

<501.6/400(環境クラスタ8 新エネルギー)>

**ツバル:地球温暖化に沈む国** 神保哲生著 増補版

春秋社 2007.7

<451.85/59>

温暖化の最前線にあって海面上昇の影響をうけて苦しむ国、ツバルの姿を現地でもく明に取材したルポタージュです。

**地球温暖化とエネルギー戦略** 一本松幹雄著

南雲堂 2005.7

<501.6/403(環境クラスタ8 新エネルギー)>

## ☆ 雑誌「特集号」

材料メーカーがしのぎ削る p.38～41

「特集タイトル」 **雑誌名** 巻号 発行年月  
 <当館請求記号>

- ・ 論文タイトル／著者名 ページ

「急成長した風力発電の実態:設備利用率向上など難問に直面」

**エネルギーレビュー** 28(6) 通巻 329 2008.6  
 <Z501/E>

- ・ 風力技術導入拡大で経済活性化:わが国における風力発電の実態／関和市 p.7～11
- ・ 企業・市民がさまざまな試み:風力発電普及の課題を探る／吉田典之 p.12～15
- ・ 風が描くまちの挑戦:悩みの「清川だし」を地域資源に活用／原田眞樹 p.16～17
- ・ 風力発電でエネルギー自給のまちづくり／吉澤晴之 p.18～21
- ・ 日本の技と匠が世界最軽量の汎用小型風車生む／伊藤瞭介 p.22～25

「地球環境を考える」

**ていくおふ** Summer 2008 123 2008.6  
 <Z687/T>

- ・ これまでの20年を変えたもの、そして2050年に向けて／竹内敬二 p.2～9
- ・ 排出権取引と航空／山口勝弘 p.10～17
- ・ 21世紀に持続性が担保されるような社会構造を設計するために:地球温暖化対策に向けた「新日本列島改造論」を／住明正 p.18～25

「検証! 省エネ法と温対法改正」

**地球環境** 39(7) 469 2008.6  
 <Z519/P>

- ・ 経済産業省 国土交通省が省エネ法を改正 エネルギー消費量の報告 企業単位へ変更 住宅は中小規模の建築物まで範囲を拡大 p.18～24
- ・ 環境省が地球温暖化対策推進法を改正へ オフィス、店舗、学校等ごとに排出水準設定 都道府県、96市で“新実行計画”を義務化 p.26～31

「低炭素都市づくり:シナリオと取組み」

**地域開発** 525 2008.6  
 <Z601/T>

- ・ 特集にあたって／小澤一郎 p.1
- ・ 低炭素社会へ向けた挑戦／藤野純一 p.2～7
- ・ 低炭素都市づくり:EUの取組みとわが国における展望／小澤一郎 p.8～13
- ・ 討論 藤野純一 vs.小澤一郎 p.14～18
- ・ 低炭素都市づくりと都市計画の役割／小澤一郎 p.19～24
- ・ バイオマスを中心とした再生可能エネルギーによるカーボンニュートラルなまちづくり／三浦秀一 p.25～28
- ・ ロンドンにおける低炭素型都市づくりの試み／村木美貴 p.29～33
- ・ 千代田区の温暖化対策条例と低炭素型都市づくり／大島康平 p.34～38
- ・ 柏市の地球温暖化対策と低炭素都市づくり／伊原優 p.39～42
- ・ 札幌市における温暖化対策と省二酸化炭素型都市づくり／猿田昭治 p.43～46
- ・ 飯田市における低炭素都市づくりモデルの提案／長谷川隆三 p.47～51
- ・ ペレットボイラーによる地域熱供給:安岡エコタウンの試み／安成信次 p.52～55
- ・ 太陽熱ソーラーシステムによる街区熱供給:

「普及前夜の燃料電池:“永遠の次世代技術”は花開くか?」

**日経エコロジー** 108 2008.6  
 <Z519/301>

- ・ 量産始まる家庭用システム:性能・耐久性は問題なし、2009年の市場投入は確実 p.26～28
- ・ “小さくても高効率”が家庭や車で強みに:燃料電池の仕組みと種類 p.29
- ・ 自信深めるトヨタ、ホンダ、日産:「協調と競争」で課題を明確化 p.30～31
- ・ 老舗ダイムラーは普及に本腰:欧米自動車メーカーの実力 p.32～33
- ・ 素材巡る攻防が水面下で激化:JSR と住友金属が新材料で成果 p.35～37
- ・ 虎視眈々と家庭を狙う SOFC:本命目指して

越谷レイクタウン／関家一弘, 河野有吾  
p.56～59

- ・ 都市計画行政の中での温暖化対策: 全国自治体アンケート調査結果より／(社)日本都市計画学会, 低炭素都市づくり研究会 p.60～65

「フルードパワーと省エネルギー・小型化・高効率  
(空気圧編)」

油空圧技術 47(6) 通巻 584 2008.6

<Z534/Y>

- ・ 空気圧モータの効率改善を目的とした特性解析と効率改善: ラジアルピストン形モータの場合／武藤寛 p.1～7
- ・ 車両用真空式トイレの効率評価手法について: 車両用真空式トイレにおける消費エネルギーの評価方法について／藤野謙司 p.8～12
- ・ エアパワーメータ／山本円朗 p.13～16
- ・ 地球にやさしい再生フィルタ／FNシリーズ／遠藤剛 p.17～21
- ・ クリーンエアフィルタ／遠藤剛, 堀口博之 p.22～26
- ・ 旋回流を用いた非接触搬送装置の非常常把持特性／徳永英幸, 黎しん p.27～30

「対地球温暖化政策と二酸化炭素の化学的固定化研究」

オレオサイエンス 8(5) 通巻 89 2008.5

<Z576.1/1>

- ・ 「対地球温暖化政策と二酸化炭素の化学的固定化研究」の企画と編集にあたって／近藤行成 p.204
- ・ 京都議定書・京都メカニズムとわが国の地球温暖化対策／二宮康司 p.205～215
- ・ 二酸化炭素の触媒的固定化反応による高分子の合成／杉本裕 p.217～224

「温暖化への対応 日本のテクノサイエンス」

科学 78(5) 2008.5

<Z405.1/K>

- ・ 地球温暖化対策技術の基本構成／山地憲治 p.512～517
- ・ 海洋による二酸化炭素の吸収／中澤高次 p.517～519

- ・ 温暖化防止に向けた都市のあり方／花木啓祐 p.520～523
- ・ 地球環境時代の都市デザイン／布野修司 p.524～528
- ・ 日本の農業と海面上昇のゆくえ／原沢英夫 p.529～533
- ・ 日本の農業から発生する温室効果ガスをどう読むか／八木一行 p.534～535
- ・ 森林による二酸化炭素の吸収／松本光朗 p.536～539
- ・ 省エネ技術の展望と普及施策／永田豊 p.540～545
- ・ セメント産業における二酸化炭素排出削減について／細谷俊夫 p.546～547
- ・ CO<sub>2</sub>回収貯留をどう考えるか／藤井康正 p.548～552
- ・ 国内排出権取引制度が選ぶ未来／岡敏弘 p.553～556
- ・ クリーン開発メカニズムの現状と課題／明日香壽川 p.557～561
- ・ IPCCでの議論について／杉山大志 p.561～562
- ・ バイオ燃料は“持続可能”か？／北林寿信 p.563～565

「北半球高緯度海域における気候変動研究: 近未来温暖化影響予測に向けた最新の知見」

地球 30(3) 通巻 344 2008.5

<Z450/T>

- ・ 北半球高緯度海域における気候変動研究: 近未来温暖化影響予測に向けた最新の知見／内田昌男 p.103～104
- ・ 北極海の激変／島田浩二, 猪上淳, 鴨志田隆, 堀雅裕 p.105～112
- ・ IMAGES サイトにおけるセジメントトラップ観測: 粒子状物質が記録する環境／蓑島佳代, 川幡穂高 p.113～118
- ・ 最終退氷期の北太平洋における貧酸素イベント: 底生有孔虫群集の解析／大串健一, 芝原暁彦 p.119～126
- ・ 温暖化によるオホーツク海及び北太平洋のオーバーターン弱化／大島慶一郎, 中野渡拓也, 若土正暁 p.127～133
- ・ 放散虫化石から推定される氷期北太平洋の

亜寒帯中層循環／板木拓也，岡崎裕典  
p.134～141

- ・ 「ちきゅう」下北半島沖慣熟航海掘削コアについて／青池寛 p.142～149
- ・ オホーツク海の最終氷期から完新世にかけての表層水温の変動／関宰 p.150～156

「低炭素社会をつくる技術：技術編」

資源環境対策 44(5) 2008.5

<Z519.7/K7>

- ・ 生活空間の省エネルギー：選定の背景／中上英俊 p.63～65
- ・ 住宅の省エネルギー技術／中村美紀子 p.66～67
- ・ 住宅のエネルギーマネジメント／鶴崎敬大 p.68～69
- ・ 高効率給湯器(潜熱回収型給湯器)／矢作正博 p.70～71
- ・ 家庭用 CO2 冷媒ヒートポンプ給湯機／斎川路之 p.72～73
- ・ 家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム／竹田剛 p.74～75
- ・ 家庭用燃料電池／西崎邦博 p.76～77
- ・ 高効率家庭用ガス調理機器／正田一貴 p.78～79
- ・ インバータ蛍光灯／濱野博司 p.80～81

「新世代太陽電池の動向」

エネルギー・資源 29(3) 通巻 169 2008.5

<Z501/36>

- ・ 新世代太陽電池への期待／藤井康正 p.139～140
- ・ 薄膜シリコン太陽電池／野元克彦，藤岡靖 p.141～145
- ・ 球状シリコン太陽電池／室園幹男 p.146～150
- ・ CIS系薄膜太陽電池の動向／櫛屋勝巳 p.151～156
- ・ 集光型の高効率太陽電池／山口真史 p.157～161
- ・ 色素増感太陽電池の現状と展望／瀬川浩司，内田聡，久保貴哉 p.162～166
- ・ 有機薄膜太陽電池／松村道雄 p.167～170

「水力発電の今日：優れた環境適合性と安定供給を重視」

エネルギーレビュー 28(5) 2008.5

<Z501/E>

- ・ 水力発電の新展開に向けて：現状と今後の課題／吉野恭司 p.7～11
- ・ わが国における水力発電の実態：コスト削減と水の確保が課題／能見和司 p.12～15
- ・ 出力増強で温暖化防止に貢献：中小水力開発の現状／古矢千吉 p.16～20
- ・ ニーズに合う技術開発と社会的受容がカギ／宮永洋一 p.21～24
- ・ 小水力発電を取り巻く環境：法制度や補助金制度が充実／山田明彦 p.25～28

「排出量取引」

環境管理 44(5) 2008.5

<Z519/S3>

- ・ 排出量取引の現状と課題／塩野谷毅 p.387～392
- ・ 中国での省エネ CDM 事業について／青野雅和 p.393～398
- ・ CDM 促進に向けた ODA の活用／須藤智徳 p.399～407
- ・ ポスト京都議定書，国内政策，排出量取引制度／長谷川雅巳 p.408～415
- ・ 省エネルギー促進に向けた CDM の課題／伊藤葉子 p.416～425
- ・ コベネフィット型 CDM による排出権の獲得／佐野真一郎，弓場雄一 p.426～432
- ・ 信託機能を活用した排出量取引／平康一 p.433～440

「産業用空調」

エレクトロヒート 29(1) 通巻 159 2008.5

<Z545/D1>

- ・ 低コスト・コンパクト化を実現した高性能ヒーティングタワーの開発／河合丈義 p.1～5
- ・ 工場用置換換気システムのご紹介／藤塚謙二 p.6～10
- ・ 旋回流誘引型成層空調システム「SWIT(スイット)」について／守屋寛之 p.11～17
- ・ 気化熱を利用した涼風装置について／逢坂進 p.18～22

- ・ 「すいえんくん」と CO2 の削減について／天羽則博 p.23～27
- ・ アプライド統合制御システム ZU:NOS の紹介／伊能利郎 p.28～35
- ・ 大洋薬品工業(株)高山工場における省エネルギー空調設備について／服部康秀 p.36～41
- ・ 雪印乳業(株)なかしべつ工場に新冷却システムを導入／森山智快 p.42～47
- ・ 「ガス吸収式冷温水機(145RT×2 台)」から「空冷ヒートポンプモジュールチラー(30RT×9 モジュール) 転換事例紹介:(株)島津製作所さま三条工場における空調熱源の転換 p.48～52

「地球温暖化対策」

鉱山 61(4) 2008.5

<Z560/K2>

- ・ 地球温暖化対策の現状について／日本鉱業協会技術部 p.1～7
- ・ 地球温暖化対策推進法改正(案)の概要について／日本鉱業協会技術部 p.8～11
- ・ 省エネルギー法改正(案)の概要について／日本鉱業協会技術部 p.12～18
- ・ 非鉄精錬業界の地球温暖化対策の取組みについて／日本鉱業協会技術部 p.19～33

「第2次循環基本計画と今後の3R施策:世界に示す日本の方向性(北海道洞爺湖サミット直前企画)」

廃棄物[月刊] 34(5) 通巻 446 2008.5

<Z519/H>

- ・ 新たな循環基本計画で日本の 3R を世界へ発信 p.6～13
- ・ サプライチェーンの連携で攻めの 3R へ p.14～17

「環境対応のトップ走者:第17回地球環境大賞受賞者」

地球環境 39(6) 通巻 468 2008.5

<Z519/P>

- ・ TDK 電子部品中の有害物質の分析技術を複数開発 p.18～22
- ・ リコー 環境負荷を2010年度までに00年度比20%削減 p.24～25
- ・ イオン レジ袋無料配布中止 6月には国内6

8店舗へ p.26～27

- ・ 神戸製鋼所 地域交流施設「灘浜サイエンススクエア」運営 p.28～29
- ・ 森ビル 都市開発を通じ環境と共生する「垂直庭園都市」p.30～31
- ・ 東海旅客鉄道(JR東海)／西日本旅客鉄道(JR西日本) 次世代新幹線「N700 系」 電力消費量 32%減 p.32～33
- ・ キヤントナーカートリッジ全世界で 100%再資源化 p.34～35
- ・ 再春館製薬所 鍵は「もったいないの心」「自然への感謝」 p.36～37
- ・ 松下電器産業 生産量 10%増でも CO2 排出 7.5%減 p.38～39
- ・ 電源開発 多目的石炭ガス製造技術開発「EAGLE」プロジェクト p.40～41
- ・ 宮城県石巻工業高等学校 海洋産業廃棄物のカキ殻で水質浄化材を開発 p.42～43

「クリーンエネルギー時代へ」

アルトピア 38(5) 2008.5

<Z565/A4>

- ・ 太陽光励起レーザー装置の実験運転を開始／矢部孝 p.9～15
- ・ 水素社会とアルミニウム／菊池哲 p.22～26

「日立グループの地球環境戦略」

日立評論 90(5) 2008.5

<Z540.5/H>

- ・ 地球環境保全に向けた日立グループの貢献 (foreword)／八丁地隆 p.3～5
- ・ 「低炭素社会」の実現に向けた技術開発の取り組み:地球環境保全と経済発展の両立をめざすシナリオ (special talk)／茅陽一, 小豆畑茂 p.6～10
- ・ 日立グループの新しい地球環境戦略 (overview)／平野学, 舛井崇, 吉田美樹, 坂本尚史, 前川祥生 p.11～15
- ・ 日立グループの環境経営への取り組み／小島久史, 一戸誠之 p.16～19
- ・ 火力発電における CO2 削減技術 / 伊藤修, 千野耕一, 齊藤英治, 圓島信也, Christian Bergins, 呉松 p.20～25
- ・ 火力発電における脱硝, 脱硫, CO2 除去技

術／吉川博文, 石坂浩, 甲斐啓一郎, 中本隆則 p.26~29

- ・ 鉄道システムにおける環境負荷低減ソリューション／和嶋武典, 中村恭之 p.30~33
- ・ 自動車における CO2 削減技術／石井潤市, 大須賀稔, 岡田隆, 宮崎英樹, 小関満, 谷越浩一郎 p.34~39
- ・ ドライブソリューションによるプラント設備の省エネルギー技術／松本久幸, 藪谷隆, 杉浦厚, 嶋田恵三 p.40~43
- ・ 水処理分野における地球環境対策への取り組み／中村裕紀, 大西真人, 武村清和, 国井光男 p.44~49
- ・ 家電製品の省エネルギー技術／廣田明久, 大塚厚, 吉田隆彦 p.50~55
- ・ CO2 削減・循環型社会の実現をめざすリサイクル技術／根本武, 馬場研二, 吉田卓弥, 弘重雄三, 赤津昌幸 p.56~59
- ・ 産業, 業務分野におけるエネルギーソリューション／坂内正明, 吉田卓弥, 木村泰崇, 藤居達郎, 関口恭一, 澤敏之 p.60~63
- ・ データセンター省電力化プロジェクト CoolCenter50／平松豊, 伊藤雅樹, 古谷野宏一, 羽生広, 臼杵俊治 p.64~67
- ・ 環境負荷削減に貢献する環境経営ソリューション／寺本和義, 加藤裕康 p.68~71
- ・ モーター, インバータを核にした産業機器製品の環境対応技術／酒井孝寿, 田中英晴, 田中雄司, 宇辰勝之 p.72~75
- ・ 電線材料における環境対応技術およびリサイクル技術／竹谷則明, 坂東良則, 中川哲郎, 逸見武男, 村上順二 p.76~79
- ・ 高機能材料における環境適合製品への取り組み／深井伸之, 今村哲郎, 伊藤賢児, 栗林佳紀 p.80~83

「検証・国内排出量取引:明らかになった「キャップ」の効用と限界」

日経エコロジー 107 2008.5

<Z519/301>

- ・ キャップ&トレードで議論沸騰:排出枠の強制割り当てに現実味 p.86~88
- ・ 排出枠取得より省エネ補助金を:温暖化対策予算の費用対効果／小杉昌幸, 歌川学

p.89~91

「平成19年度国土交通白書:進行する地球温暖化とわたしたちの暮らし」

国土交通 61(5) 通巻 89 2008.5

<Z681/5>

- ・ 気候変化予測の現状と今後の課題／木本昌秀 p.8~9
- ・ 低炭素社会へのソフトインフラを／飯田哲也 p.10~11
- ・ 平成19年度国土交通白書の概要 p.12~30

「水と環境を支えるシステム技術」

東芝レビュー 63(5) 2008.5

<Z540.5/T>

- ・ 21世紀環境立国への技術貢献／古米弘明 p.1
- ・ 資源の安定供給と環境修復を目指した水・環境総合ソリューション技術／仲田雅司郎, 雨宮隆 p.2~6
- ・ 上下水道プラントに適用する環境配慮型システム製品／宮尾圭一, 須之内康真, 杉野寿治 p.7~10
- ・ 環境負荷を低減する上水道用水処理装置／環省二郎, 森川彰, 松代武士 p.11~14
- ・ メタン発酵と排水処理／田村博, 山本勝也, 高松誠昇 p.15~18

「GOSAT 小特集」

日本リモートセンシング学会誌 28(2) 2008.4

<Z512/12>

- ・ GOSAT と炭素循環研究／井上元 p.114~118
- ・ 温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)と地上システムの概要／浜崎敬, 中島正勝, 金子豊, 久世暁彦, 竹島敏明, 長尾法人 p.119~126
- ・ 国立環境研究所における GOSAT 地上データシステムの開発とデータ処理方針／渡辺宏, 石原博成, 開和生, 松永恒雄, 横田達也 p.127~132
- ・ GOSAT 搭載温室ガス観測センサ(TANSO-FTS)短波長赤外バンドのデータ処理手法／横田達也, 青木忠生, 江口菜穂, 太田芳文, 吉

田幸生, セルゲイ オフシェフコフ, アンドレイ ブリル, ラファエル デビアン, 森野勇 p.133~142

- GOSAT 衛星搭載フーリエ変換型分光器で観測される近赤外スペクトルの外来ノイズ補正 [英文] / 青木忠生, 横田達也, 信田浩二, 小谷明 p.143~151
- 衛星からの晴天域の近赤外太陽散乱光観測による二酸化炭素気柱量推定手法の検討: 誤差評価と鉛直気圧グリッドの最適化 / 太田芳文, 吉田幸生, 横田達也 p.152~160
- 温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)の熱赤外波長における二酸化炭素鉛直プロファイル導出アルゴリズム / 齋藤尚子, 今須良一, 太田芳文, 丹羽洋介 p.161~177
- GOSAT 衛星搭載イメージャーCAI を利用したエアロゾルと雲情報の抽出に関する研究 / 中島映至, 中島孝, 日暮明子, 佐野到, 高村民雄, 石田春磨, ニック シュトゲンズ p.178~189
- GOSAT 観測とその総リリーバル誤差が領域毎の二酸化炭素収支量推定に及ぼす影響の評価 [英文] / シャミール マクシュートフ, ニコライ カディグロフ, 中塚由美子, プラビーバル パトラ, 中澤高清, 横田達也, 井上元 p.190~197
- GOSAT の校正計画 / 塩見慶, 久世暁彦, 川上修司, 近藤豊 p.198~203
- GOSAT-TANSO の検証計画 / 森野勇, 内野修, 工藤泰子, 山口高明, 横田達也 p.204~210

「地球環境問題を考える」

グリーン・エージ 412 2008.4

<Z519/G>

- 地球温暖化をめぐる諸課題:なぜ森林行政の役割が重視されるのか / 滑志田隆 p.4~7
- 森林吸収目標達成に資する森林整備 / 中野亨 p.8~11
- 都市緑化による地球環境問題等への対応 / 国土交通省公園緑地課緑地環境推進室 p.12~15
- 企業等の森づくり活動の現状と支援策について / 林野庁研究・保全課 p.16~19
- 緑化植物への地球温暖化の影響に係る生育

実験について / 山田和司 p.20~24

「新たな京都議定書目標達成計画」

エネルギー 41(5) 2008.5

<Z501/E>

- パブリックコメント受け8カ所修正し閣議決定: 企業の06年度温室効果ガス排出量も初公表 p.136~138
- 20年度の温室効果ガス排出量05年度比14%減も:エネルギー長期需給見通しまとまる / 編集部 p.138~140

「地球温暖化対策」

建設関連業月報 321 2008.4

<Z510/K8>

- 我が国の温暖化の現状と防止への取組み / 谷貝雄三 p.4~8
- 森林による地球温暖化対策:林野庁における森林吸収源対策の取組み / 野畑直城 p.9~12
- 画像で見る温暖化地図:リモートセンシング画像で見る地球温暖化の現状 / 五十嵐保 p.13~17
- 高分解能 SAR 衛星による地球温暖化のモニタリング / 高岸且 p.18~23

「ISO14000 ファミリーの最新動向と課題」

産業と環境 37(4) (通号 425) 2008.4

<Z519/S4>

- ISO14000 ファミリーの最近の動向について / 小田宏行 p.21~26
- ISO14001 とその関連規格の最新動向 / 吉田敬史 p.27~30
- 環境表示ガイドラインの概要と生かし方 / 佐藤仁泉 p.31~33

「分散型電源を含む電力供給システム」

電気評論 93(4) 通巻 521 2008.4

<Z540/D17>

- 分散型電源を含む電力システムの動向と展望 / 杉原英治, 辻毅一郎 p.7~10
- 分散型電源導入拡大に伴う諸課題:配電系統連系に関する現状 / 不破由晃, 滝波力 p.11~15

- ・ 高柔軟・高信頼電気エネルギー流通システム:分散型電源を活用した新しい電力供給システム/原亮一, 大山力 p.16~20
- ・ 地域での新エネルギー実証研究:集中実証研究など/諸住哲 p.21~25
- ・ 需要地系統技術の研究開発/小林広武 p.26~31
- ・ 複数種類の分散型電源によるエネルギーネットワーク構築:天然ガスエンジンコージェネと蓄電装置による連系運転,および自立運転制御/沼田茂生, 下田英介, 馬場旬平 p.32~36
- ・ 各国における分散型電源施策の比較:欧米における再生可能エネルギー導入施策を中心として/松枝茂広 p.37~41
- ・ 欧米における研究の動向/高山大輔 p.42~46

「環境・エネルギー」

TOYOTA Technical Review 224 2008.4  
<Z539/T>

- ・ トヨタの環境への取り組み/松田剛, 高間建一郎, 山口眞一 p.6~11
- ・ 新 2.0L バルブマチック付ガソリンエンジンの開発/高橋政克, 加納知広, 山田哲, 上浦響, 河崎高志, 細田文典 p.12~19
- ・ 新 4.5LV8 ディーゼルエンジンの開発/衣沢喜幸, 鈴木久信, 高松昌史, 尾頭卓, 水谷誠, 真田雅規, 知崎潤二, 天池雅明 p.20~27
- ・ CO2 低減に関するトランスミッションの最新技術/星野明良, 棗浩志 p.28~33
- ・ 環境・エネルギーへの材料技術の取り組み/吉田信 p.34~39
- ・ LS600h用ハイブリッドシステムの開発/大村秋広, 大場智, 加藤弘樹, 荒瀬泰宏, 菊池隆二, 伊藤雅俊 p.40~47
- ・ Plug-in HV の有効性の検証/小松雅行, 高岡俊文, 石川哲浩, 後藤田優仁, 鈴木直人, 小澤環 p.48~55
- ・ 燃料電池自動車の普及に向けて/河合大洋 p.56~63
- ・ アルゴン循環型高効率水素エンジンの研究/三谷信一, 澤田大作, 小須田通, 藤城修 p.64~69
- ・ 「サステナブル・プラント」活動/小山裕康,

樋口正裕, 中川佳久, 中根功夫, 岡野豊  
p.70~75

「CO2 は見せて減らす:サプライヤーもユーザーも巻き込む温暖化対策」

日経エレクトロニクス 975 2008.4  
<Z549/N>

- ・ 環境問題は地域から国, 世界へ p.48~49
- ・ 部品も素材も消費者も, 全員参加の削減作戦が始まる p.50~56
- ・ 温暖化 ここが知りたい Q&A p.57~59
- ・ 「気が付けば省エネ」じわじわとユーザーを誘導する p.60~66

「脱温暖化都市への変革:自治体に求められる政策・施策」

資源環境対策 44(4) 2008.4  
<Z519.7/K7>

- ・ 脱温暖化社会に向けた自治体行政の課題と展望/田中充 p.20~25
- ・ 変わりつつある自治体の温暖化対策/宇高史昭 p.26~31
- ・ 脱温暖化に向けた自治体のエネルギー政策/増原直樹 p.32~37
- ・ 脱温暖化に向けた自治体の交通政策/上岡直見 p.38~43
- ・ 脱温暖化へ 国の先を行く首都東京の挑戦/谷口信雄 p.44~49
- ・ 「名古屋における 2050 年 CO2 マイナス 60% ロードマップ」の提案/竹内恒夫, 杉山範子 p.50~55

「福田内閣の環境予算を読む」

地球環境 39(5) 2008.4  
<Z519/P>

- ・ 環境省:地球温暖化対策は 21.4%増と大幅増/編集部 p.18~25
- ・ 経済産業省:温暖化対策と成長が両立の日本モデル構築/村上朝子 p.26~27
- ・ 経済産業省:省エネルギー・新エネルギー(増額) p.28~31
- ・ 国土交通省:都市構造, 住宅, 交通体系等で温暖化防止/旭利彦 p.34~37
- ・ 農林水産省:稲わら, 間伐材原料のバイオ燃

料技術確立へ／旭利彦 p.38～40

「まちづくり2011年宣言」

**建築と社会** 89(1033) 2008.4

<Z520/K1>

- ・ 低炭素社会とまちづくり／島田幸司 p.12～13
- ・ 低炭素社会のライフデザイン:「減築生活のすすめ」(暮らし方の転換を捉える)／土堤内昭雄 p.14～15

「地球温暖化防止に向けた取り組み」

**建築設備士** 40(4) 通巻 467 2008.4

<Z528/7>

- ・ 建築設備技術者の取り組みと持続継続の重要性／山下開 p.1
- ・ 新菱冷熱工業 耕風寮(設備技術者としての取り組み CASBEE 評価認証 Sランク事例)／津島健 p.2～5
- ・ 関電ビルディング(設備技術者としての取り組み CASBEE 評価認証 S ランク事例)／北野剛人, 三島憲明, 堀川晋, 牛尾智秋 p.6～10
- ・ 日本橋三井タワー(設備技術者としての取り組み CASBEE 評価認証 S ランク事例)／稲垣勝 p.11～14
- ・ 竹中工務店 東京本店(設備技術者としての取り組み CASBEE 評価認証 S ランク事例)／平野克彦 p.15～20
- ・ LED 照明(製品供給者としての取り組み)／大利富夫 p.21～23
- ・ トップランナー変圧器(製品供給者としての取り組み)／林靖雅 p.24～27
- ・ 高性能ターボ冷凍機(製品供給者としての取り組み)／和島一喜 p.28～30
- ・ 節水型トイレ(製品供給者としての取り組み)／中村健一 p.31～33
- ・ 燃料電池(製品供給者としての取り組み)／伊藤俊之 p.34～37
- ・ Honda 和光ビルにおける CO2 削減に対する取り組み(建設現場での取り組み)／田村富士雄, 横山大毅, 織間正行 p.38～41
- ・ ライフサイクルデザイン「つくる」「つかう」「もどす」を考えたものづくり(建設現場での取り組み)／好川正朋 p.42～45

- ・ 建物管理での温暖化防止に向けた取り組み(建物管理での取り組み)／安藤正夫 p.46～49
- ・ 総合商社としての取り組み(建物管理での取り組み)／井上弘毅 p.50～53
- ・ 東京都の気候変動対策:これまでの取り組みと今後の展開(今後の取り組みに向けて)／山本明 p.54～57

「オフィスビルの「省エネ力」:まだ間に合うCO2ダ イエツト」

**日経エコロジー** 106 2008.4

<Z519/301>

- ・ 設備を疑い人手で「ムダ取り」:まだある!投資 「0円」からできるバリュー対策 p.122～125
- ・ 対策のヒントは家庭にあり:最終チェック!これだけは押さえないマスト対策 p.126～128

「森の息づかいを測る:森林生態系の CO2 フラックス観測研究」

**環境儀** 28 2008.4

<Z519/335>

- ・ 森林をまるごと観測する:CO2 フラックス研究 (研究者に聞く!!) p.4～9
- ・ 日本から一アジア地域の観測サイトにみる炭素収支(Summary) p.10～11
- ・ 急速に充実する森林の CO2 フラックス研究 p.12～13

「下水道事業における地球温暖化対策」

**下水道協会誌** 45 通巻 546 2008.4

<Z519.2/N1>

- ・ わが国における地球温暖化対策の現状／谷貝雄三 p.4～8
- ・ 下水道における地球温暖化対策への取り組み／三宮武 p.9～11
- ・ 東京都下水道局における地球温暖化防止計画:「アースプラン 2004」の概要と取り組み状況／小団扇浩 p.12～14
- ・ LOTUS Project の地球温暖化対策としての期待される効果／小野田吉恭, 藤川征宏 p.15～17
- ・ 日本下水道事業団の地球温暖化への取り組み:汚泥処理プロセスに焦点を当てて／植田

- 達博 p.18～21
- ・ 中小市町村における地球温暖化対策:風力の利用について/中山裕行,川上高男 p.22～25
- ・ 温暖化対策プロジェクトの電力削減取り組みとその評価/荒井均 p.26～28
- ・ 環境報告書で見る地球温暖化対策/柳橋唯信 p.29～32
- ・ 下水汚泥部分燃焼ガス化実験の取り組み:下水汚泥を用いたガス化発電システムの開発に関する共同研究/佐藤昭知 p.33～36
- ・ 苫小牧市における下水道資源の有効利用について:消化ガス発電による地球環境保全/新谷博之 p.37～39
- ・ 燃料電池導入による環境負荷の低減/軸丸英顕 p.40～42

「気候変動により増大する自然災害リスクへの対応」

国土交通 61(4) 2008.4  
<Z681/5>

- ・ 地球温暖化への適応策のあり方(座談会)/福岡捷二,竹内邦良,沖大幹,甲村謙友 p.4～9
- ・ 水関連災害分野における地球温暖化に伴う気候変動への適応策のあり方:中間とりまとめ/ (国土交通省)河川局河川計画課河川計画調整室 p.10～13
- ・ 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の創設による危機管理対応の充実強化/ (国土交通省)河川局防災課 p.14～15
- ・ 中央防災会議における大規模水害対策の検討状況/内閣府防災担当 p.16～17
- ・ 「ゲリラ的豪雨」にいかにかに備えるか?:平成 18 年7月豪雨(鹿児島県さつま町)に学ぶ/柄谷友香 p.18～19
- ・ EUの気候変動への適応の動向:はん濫リスク対応を中心に/尾澤卓思,柏井条介,野口賢二,吉谷純一 p.20～23
- ・ バングラデシュ サイクロン・シドル災害現地調査/バングラデシュ サイクロン・シドル災害現地調査団 p.24～25
- ・ ツバルにおける気候変動対策調査/泊宏,山田浩次 p.26～27

- ・ 山岳地域における災害リスクの増大に対する国際的な取組み/水山高久 p.28～29

「バイオマス利活用への期待」

用水と廃水 50(4) 2008.4  
<Z570.9/Y>

- ・ バイオマス利活用による地球温暖化防止/野池達也 p.308～317
- ・ 地球温暖化防止バリ会合(COP13)の成果と評価/谷津龍太郎 p.318～324
- ・ 資源のみち下水道/津野洋 p.325～329
- ・ 下水道におけるバイオマス利活用事業:珠洲市浄化センターバイオマスメタン発酵施設の例/三宮武 p.330～334
- ・ 国産バイオ燃料への取組みと展望/北林英一郎 p.335～341
- ・ バイオマスタウン形成促進への取組み/岡庭良安 p.342～347
- ・ 京都議定書における森林吸収の枠組みとわが国の森林政策/赤木利行 p.348～353

「洞爺湖サミットに向けて:京都議定書採択から 10 年」

環境と公害 37(4) 2008.4  
<Z519/K18>

- ・ 地球温暖化交渉の 10 年:その到達点と課題/高村ゆかり p.46～52
- ・ 日本の温暖化防止政策の評価と展望/大島堅一 p.53～60
- ・ バリ会議の報告:気候変動枠組み条約第 13 回締約国会議(COP13)・京都議定書第 3 回締約国会合(COP/MOP3)/松本泰子 p.61～62

「話題の CO2 固定化技術 4」

クリーンエネルギー 17(4) 通巻 189 2008.4  
<Z501/33>

- ・ 油田微生物利用メタン生成技術:枯渇油層への圧入 CO2 と地下微生物作用による原油のメタン変換/前田治男,藤原和弘 p.35～38
- ・ 炭酸ガスを原料とする合成ガス製造プロセス:国産初のGTLプロセス技術の確立を目指して/程島真哉 p.39～44

「資源・エネルギーと環境問題への多面的アプローチ」

オペレーションズ・リサーチ 53(4) 通巻 568  
2008.4

<Z335/O>

- ・ 特集にあたって／辻村元男 p.204
- ・ 素材のリサイクルポテンシャルと環境負荷低減量の推計／松野泰也 p.205～209
- ・ より良い高速増殖炉サイクル実現に向けたOR手法の活用／塩谷洋樹 p.210～216
- ・ 新エネルギー発電電力取引とリスクヘッジ／山田雄二 p.217～223
- ・ 望ましいCO2濃度安定化目標／小田潤一郎, 秋元圭吾, 林礼美, 本間隆嗣, 佐野史典, 友田利正 p.224～229
- ・ 排出権取引制度と市場設計／前田章 p.230～234
- ・ 2次形式の調整費用を考慮した代替的な環境政策について／後藤允, 高嶋隆太, 辻村元男 p.235～239

「地球温暖化対策」

BE 建築設備 59(4) 通巻 686 2008.4

<Z528/K7>

- ・ インタビュー: 神秘の惑星・地球の危機に向き合う／堂本暁子 p.20～21
- ・ 地球温暖化防止のための制度の概要／鮎川智一 p.22～28
- ・ 地球温暖化防止に向けた取り組みの現状と課題／川瀬貴晴 p.29～32
- ・ 地球温暖化防止に向けたエネルギー利用のあり方／村上公哉 p.33～40
- ・ 中小企業におけるCO2削減とESCOの取り組み／杉山利夫 p.41～45

「新ガラス溶融技術: 環境負荷の低減に向けて」

マテリアルインテグレーション 21(4) 通巻 239  
2008.4

<Z573/N6>

- ・ 環境とガラス: 温室効果ガス排出量削減を目指して／寺井良平 p.1～5
- ・ ガラス溶解炉における燃料転換: 都市ガス化によるCO2削減／山北龍児 p.12～17

「低炭素社会への道筋」

生活と環境 53(4) 通巻 624 2008.4

<Z498/S>

- ・ 特集にあたって／柳下正治 p.4
- ・ カーボンリスク社会の到来: 環境と金融の融合を考える(独占インタビュー)／末吉竹二郎 p.5～10
- ・ 科学と社会との意味ある対話の促進: 長期的な温暖化戦略における(環境シンポジウム)／柳下正治, 赤井誠, 秋元圭吾, 工藤拓毅, 西岡秀三, 平田仁子, 榎本晃章, 百瀬則子, 山田章博, 岩田伊津樹, 蟹江憲史, 塚原東吾 p.12～19
- ・ 低炭素社会の実現に向けて／梶原成元 p.20～23
- ・ 排出量取引の世界的な動向／小松潔 p.24～30
- ・ 欧米諸国における新エネルギー開発の現状と我が国の課題／飯田哲也 p.31～37
- ・ 京都市における地球温暖化対策／京都市総合企画局地球温暖化対策室 p.38～41

「脱温暖化を改めて考える」

環境情報科学 37(1) 2008.3

<Z519/K>

- ・ 低炭素社会づくりの政策を考える／浜中裕徳 p.1
- ・ IPCC第4次報告書が与えた新しいインパクト／住明正 p.3～8
- ・ 京都議定書の森林吸収の扱いをめぐる科学的考察／天野正博 p.9～14
- ・ 家庭における省エネルギーの可能性: 暖冷房を中心として／中上英俊 p.15～20
- ・ 「国民性」と環境問題: 文化の多様性を受け入れる政策立案のために／吉野諒三 p.21～26
- ・ 日欧の乗用車CO2効率性を評価する／湊清之 p.27～32
- ・ バイオ燃料がもたらす持続可能性: 再考の必要は?／北林寿信 p.33～38
- ・ カーボン・オフセットはまやかしか? : わが国の具体的事例の検証／角倉一郎 p.39～44
- ・ 環境文明への尖兵: 地球温暖化への取り組みを振り返る／西岡秀三 p.45～50

- ・ 持続可能な発展にむけたトランジション・マネジメント:理論と欧州における実践/デレク・ロールバク, 山口容平 p.51~55

「脱温暖化に向けたバイオマス利活用」

環境保全 22 2008.3

<Z519/3>

- ・ 脱温暖化に向けたバイオマス利活用の展望 /池上詢 p.3~11
- ・ バイオマス・ニッポン総合戦略の着実な推進に向けて/木下卓 p.12~22
- ・ 京都市のバイオマス利活用にむけた取組みについて/中村一夫 p.23~30
- ・ 廃食用油をはじめとする京都バイオマス有効利用シナリオの LCA 評価/酒井伸一, 平井康宏, 矢野順也 p.31~43

「環境にやさしい交通に向けての国際連携:日本からの発信!」

国土交通 87 2008.3

<Z681/5>

- ・ 気候変動問題への日本のイニシアティブ:「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」に向けて/国土交通省総合政策局交通政策室 p.8~9
- ・ 座談会 国際連携の強化:低炭素社会の交通に向けて/大聖泰弘, 高村ゆかり, 中村良也, 華山伸一, 柴田耕介 p.10~15
- ・ 気候変動問題に関する国際枠組みの状況/国土交通省総合政策局環境政策課 p.16~17
- ・ 世界各国の交通部門からの CO2 排出量の現状/国土交通省総合政策局国際交通政策室, 環境政策課 p.18~19
- ・ 国内交通の地球温暖化対策(解説)/国土交通省総合政策局環境政策課 p.20~21
- ・ 航空分野の地球温暖化対策(解説):ポスト京都の枠組みに向けて/国土交通省航空局 p.22
- ・ 海運の環境問題への取組み(解説)/国土交通省総合政策局海洋政策課, 海事局総務課 参事官室(技術), 船用工業課, 安全基準課 p.23
- ・ 気候変動問題と交通:身近な取組みとグローバルな対応/亀山康子 p.24~25

- ・ 交通部門の地球環境対策と CDM 事業に関わって/舛巴亮 p.26~27

「ポスト京都議定書への道」

地球環境 39(4) 通巻 466 2008.3

<Z519/P>

- ・ 総論 8 つの論点:米中など主要排出国の交渉参加決まり前進 COP13(気候変動枠組み条約第13回締約国会議)合意/編集部 p.20~27
- ・ 2013 年以降の取組み“空白期間”回避 洞爺湖サミット~COP15 交渉の舞台整う 鴨下環境大臣に聞く:COP13 の成果と課題 p.28~32
- ・ 米国とインド、中国など途上国 決裂回避の舞台裏 途上国は CO2 削減を表明 米国は次期交渉に復帰:ドキュメント COP13/産経新聞外信部 p.33~37
- ・ 加藤修一・公明党参議院議員(党副幹事長)(上):2 年後の COP15 では排出削減の数値目標が必要(GLOBE Japan 通信 48) p.38~39
- ・ 産経新聞記事に見る COP13 開幕から閉幕まで p.40~43

## ☆ 個別の論文

論文タイトル/著者名

雑誌名 巻号 発行年月 ページ

<当館請求記号>

低炭素・脱炭素社会への道/吉田邦夫

標準化ジャーナル 38(6) 通巻 532 2008.6 p.3~6

<Z501.7/H>

政策への具体化が進む「21 世紀環境立国戦略」

/小林光 p.130~133

IPCC 第四次評価報告書「気候変動 2007」

/西尾匡弘 p.134~138

バイオマス等の高度利用火力発電システム

/小川紀一郎, 鳥飼航洋 p.184~188

エネルギー・資源 29(3) 通巻 169 2008.5

<Z501/36>

稲作:米騒動発生の危険あり、収量増加にかじを切れ(どうなる どうする温暖化)

日経エコロジー 108 2008.6 p.63~65  
<Z519/301>

Attributing physical and biological impacts to anthropogenic climate change (物理学的、生物学的な影響は人為起源の気候変化が原因と考えられる) / Cynthia Rosenzweig, David Karoly, Marta Vicarelli, Peter Neofotis, Qigang Wu, Gino Casassa, Annette Menzel, Terry L. Root, Nicole Estrella, Bernard Seguin, Piotr Tryjanowski, Chunzhen Liu, Samuel Rawlins, Anton Imeson  
nature 453(7193) 2008.5.15 p.353~357

Advancing decadal-scale climate prediction in the North Atlantic sector (北大西洋域における10年スケールの気候予測を進展させる) / N.S.Keenlyside, M.Latif, J.Jungclaus, L.Kornbluh, E.Roeckner  
nature 453(7191) 2008.5.1 p.84~88  
<Z405/N9>

地球温暖化対策への取り組み / 小野田聡  
火力原子力発電 59(5) 通巻620 2008.5 p.373  
<Z543.4/K2>

地球温暖化予測の「翻訳」に向けて / 江守正多  
日本地球惑星科学連合ニュースレター(JGL) 4(2) 2008.5 p.1~3  
<Z450/33>

定置用燃料電池に関する 2007 年度活動報告 / 井原卓郎 p.15~20  
風力発電に関する 2007 年度活動報告 / 小川晋 p.21~28  
太陽光発電に関する 2007 年度活動報告 / 内橋健二, 出口洋平 p.29~33  
電機 718 2008.5  
<Z540/D29>

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について / 環境省  
科学機器 719 2008.5 p.39~42  
<Z535/K4>

アプライドマテリアルズジャパン(わが社の環境への取り組み 第13回)  
SEAJ Journal 114 2008.5 p.18~20  
<Z549/9>

地球温暖化対策と ISO14001:認証制度への期待(持続可能な社会の実現に向けて:環境 ISO の役割) / 廣田 恭一  
標準化と品質管理 61(5) 2008.5 p.7~11  
<Z501.7/H>

CO2の経済的評価 / 林山泰久, 前川秀和  
道路 通巻806 2008.4・5 p.38~44  
<Z514/D>

京都議定書とポスト13をめぐる各国のうごき / 大石強, 平嶋雅雄  
設備と管理 42(6) 2008.6 p.109~113  
<Z509/S>

ガス利用の高効率化技術の展望(最近のガス利用冷凍技術) / 西山教之  
冷凍 83(967) 2008.5 p.303~305  
<Z533/R>

水素エネルギー社会へ至る道筋とシナリオ:期待されるバイオ液体燃料導入の意義と問題点 / 本間琢也 p.326~331  
西部太平洋上における夏季と冬季の表層大気中オゾン濃度について / 小林賢, 平木隆年, 石田廣史 p.332~339  
環境技術 37(5) 通巻437 2008.5  
<Z519/K5>

Cool Earth:エネルギー革新技術計画(概要) / 経済産業省  
ベアリング 51(5) 通巻597 2008.5 p.168~171  
<Z531/B>

地球温暖化問題と革新的技術への期待 / 小菅茂義 巻頭  
省エネルギーを中心とした照明技術の最新動向 / 森明 p.56~67  
エレクトロヒート 29(1) 通巻159 2008.5  
<Z545/D1>

電機・電子業界:地球温暖化防止の自主行動計画  
と今後の取り組み／花光直人

CIAJ JOURNAL 48(5) 通巻 561 2008.5 p.27  
～28

<Z547/T>

森林消失が地球温暖化の鍵:IPCC 評価の科学と  
政治力学／福田正巳

科学 78(5) 2008.5 p.572～575

<Z405.1/K>

電サステナブル建築における建築設備の課題  
／赤司泰義 p.18～27

東京ガスにおける分散エネルギーネットワークの  
実証試験:ホロニックエネルギーシステムの実現  
に向けて／緒方隆雄 p.28～34

建築設備&昇降機 73 2008.5

<Z536/9>

力の有効活用と省資源・地球温暖化防止／徳光  
岩夫

第2回 CO2 排出低減で地球温暖化防止

電気計算 76(3) 通巻 1021 2008.3 p.41～50

第3回 電気事業と地球温暖化防止の成果

電気計算 76(4) 通巻 1022 2008.4 p.59～69

第4回 原子力発電の必要性と省エネルギー

電気計算 76(5) 通巻 1023 2008.5 p.56～60

第5回 高効率火力発電の活用とCO2 排出削減推進

電気計算 76(7) 通巻 1025 2008.6 p.49 ～56

<Z540/D1>

プロスポーツで温暖化ストップ! :プロ野球、Jリー  
グも CO2 削減に挑戦 各会場で来場者に呼びか  
け みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス  
6%

都市と廃棄物 38(5) 2008.5 p.46～47

<Z519/T5>

発電設備による省エネ・CO2 削減事例:LNG サテ  
ライト設備を用いた燃料転換ならびに高効率蒸気  
タービンへの更新(省エネルギー特集 I)／有福  
聡

紙パ技協誌 62(5) 通巻 686 2008.5 p.30～35

<Z585/K>

京都議定書目標達成に向けた取り組み(地球環  
境問題)／中村秀臣

電気協会報 (1002) 2008.5 p.22～25

<Z540/D14>

カーボン・オフセット、バイオ燃料でシンポ  
GLOBE Japan が主催 専門家が提案:シンポジウ  
ム 地球温暖化対策のための具体的課題  
(GLOBE Japan 通信 50)

地球環境 39(6) 通巻 468 2008.5 p.46～50

<Z519/P>

環境問題への取り組み(現場管理からの利益創  
出 人材教育から現場改革へ 連載 vol.5)／吉田  
秀和 p.10～15

Web2.0 は CO2 の削減にも役立つ(Web2.0 時代  
のDTP)／東陽一 p.16～21

印刷界 654 2008.5

<Z749/I>

LCAの取り組みと塗料への展開(LCAから見た塗  
料・塗装に関する環境課題と解決策:塗装技術は  
地球温暖化から救えるか)／小西蒨一

その1 塗装技術 47(3) 2008.3 p.111～115

その2 塗装技術 47(4) 2008.4 p.106～109

その3 塗装技術 47(5) 2008.5 p.116～119

<Z576/T>

気候:熱ストレスで100年後には死亡リスクが2倍  
に(どうなる どうする温暖化) p.53～55

地球温暖化対策の推進に関する法律:改正で業  
務への対策強化 製品の排出量の揭示を推奨  
(再入門!よくわかる環境法 01) p.56～57

日経エコロジー 107 2008.5

<Z519/301>

環境経営事典 2008:用語解説・法律・データ集

日経エコロジー 付録 2008.5 141p.

<Z519/301>

温暖化防止時代の油圧(上)・(下)／田中豊, 鈴  
木隆司

油空圧技術 47(5) 通巻 583 2008.5 p.27～30

油空圧技術 47(6) 通巻 584 2008.6 p.50～54

<Z534/Y>

地球温暖化防止・CO2 削減に貢献するガスヒートポンプエアコン(最新技術情報 空調設備)／三澤誠

**建設設備と配管工事** 46(6) 通巻 614 2008.5 p. 38～40  
<Z528/K11>

森林消失が地球温暖化の鍵:IPCC 評価の科学と政治力学／福田正巳

**科学** 78(5) 2008.5 p.572～575  
<Z405.1/K>

持続可能な社会に向けて Part1 エネルギー・資源問題編／井上孝太郎

**OHM** 95(5)別冊付録 2008.5 60p.  
<Z540/O>

油断大敵「EuP 指令」迫る欧州環境規制の第4波: LCA の深化で守りから攻めへ

LED 照明にエコの追い風:消費電力で蛍光灯を凌駕

**日経エレクトロニクス** 978 2008.5 p.69～78  
**日経エレクトロニクス** 977 2008.5 p.77～84  
<Z549/N>

廃棄物由来 CO2 排出量を考慮した焼却施設の LCA 手法の検討:千葉県を事例に(特集:第29回全国都市清掃研究・事例発表会より)／楊翠芬, 田畑智博, 菱沼竜男, 玄地裕

**都市清掃** 61(283) 2008.5 p.235～241  
<Z519/T4>

地球温暖化を考える:湯水問題と気温や降水量の記録から(気象コラム 曇りガラス)／富沢勝

ボイラー・クレーン・溶接の jitsu・ten 243 2008.5 p.62～67  
<Z509/Z1>

世界低炭素社会に向けた挑戦:日英共同研究「低炭素社会の実現に向けた脱温暖化 2050 プロジェクト」第3回日英低炭素社会国際会合の結果報告／藤野純一 p.2～5

サンゴの白化は温暖化のせい?(ココが知りたい地球温暖化 18-1)／山野博哉 p.6～8  
国際会議:日本の主張は誰が決める?(ココが知

りたい地球温暖化 18-2)／亀山康子 p.9～11  
「温暖化防止! 特命レポーター」は見た:石垣島のサンゴ礁と波照間島の大気モニタリングステーションの取材に同行して/今井敦子 p.12～13  
グローバル・カーボン・プロジェクト(GCP)つくば国際オフィス(オフィス活動紹介) p.15  
**地球環境研究センターニュース** 19(1) 2008.4  
<Z519/104>

アフリカ中部の温暖化(続・世界的環境問題 第89回)／川名英之

**INDUST** 247 2008.5. p.89～91  
<Z519/299>

規制で縛る温暖化対策 このままでは行き詰まる(羅針盤 68)／デービット・ハウエル

**WEDGE** 20(5) 通巻 229 2008.5 p.5～7  
<Z335/26>

地球温暖化防止に貢献する機能性環境改善塗材「ガイナ」の実体とその多機能性について(物流先端技術)／刈田研二

**MH ジャーナル** 253 2008.4 p.26～29  
<Z509/26>

ホメオスタシス機能を有するコンビナートを形成するためのエコ・ネットワーク設計法／秋山友宏

**化学工学** 72(4) 2008.4 p.193～197  
<Z570.5/K>

最近の家庭用ヒートポンプ給湯機について／佐藤英之

**電力マンスリー** 658 2008.4 p.6～7

温室効果ガスを削減する鹿島の技術

**Kajima** 584 2008.4 p.4～13  
<Z510.5/K>

住まいの CO2 削減に向け官民の総力戦に:日はまた昇るか!?!太陽光発電 p.8～16

積水ハウス「CO2 オフ住宅:省エネ技術と新エネ技術で CO2 差し引きゼロを実現」(ハウジング・ラボ) p.46～47

**ハウジング トリビューン** 345 2008.4  
<Z527/5>

地球温暖化問題解決へのIT業界の貢献  
／椎野孝雄  
CIAJ JOURNAL 48(4) 通巻 560 2008.4 p.4～10

<Z547/T>

地域のエネルギー・資源を生かそう:ストップ温暖化大作戦 CO2 削減「一村一品プロジェクトから」(egトレンド)

電気とガス 58(4) 2008.4 p.2～6

<Z540/D26>

地球温暖化を防止する高分子膜(特集「環境負荷低減に向けた技術開発」)／風間伸吾

アロマティックス 60(春季) 2008.4 p.79～92

<Z570/A>

バイオ燃料生産時の土地開墾による温室効果ガス排出影響を試算(トピックス)

科学技術動向 85 2008.4 p.5

<Z505/166>

地球温暖化対策 新・目標達成計画で国内取り組みスタート(総力特集 2008 エネルギー展望)／編集部編

エネルギー 41(4) 2008.4 p. 57～60

<Z501/E>

塗材でできる地球温暖化対策エコスペック(環境配慮仕様)の提案(遮熱・断熱塗料特集)／原田賢治

塗装と塗料 715 2008.4 p. 27～30

<Z576.8/T3>

業種別省エネルギー最前線シリーズ:ガス業 天然ガスの利用拡大を基軸に地球温暖化対策に取り組む／加賀城俊正

省エネルギー 60(4) 2008.4 p. 88～91

<Z501/S>

地図の無い島:環礁州島における地理情報の整備と地球温暖化に対する脆弱性評価・適応策への応用／山野博哉

地学雑誌 117(2) 2008.4 p.412～423

<Z450.5/T>

地球温暖化と生物多様性の危機／樋口広芳  
科学 78(4) 2008.4 p. 460～468

<Z405.1/K>

地球温暖化問題を見る視点:気候変動枠組条約からパリ会合まで(地球環境問題)／澤昭裕

電気協会報 (1001) 2008.4 p. 22～27

<Z540/D14>

環境にやさしい天然ガス圧接「エコウエル工法」の開発:天然ガスを利用した鉄筋の接合技術の開発／高比良聡, 天野寿二, 宮口茂樹, 中田慎介

コンクリート工学 46(4) 2008.4 p. 34～40

<Z540.5/D2>

地球環境にやさしい鉄道・船舶(エコアクション・レポート Vol.9)

橋梁形式選定におけるJIS PC桁:JIS桁の特殊性、JIS桁の解体、エネルギー消費量・CO2 排出量／既設道路橋を考える会

橋梁&都市PROJECT 44(4) 2008.4 p.21～31

<Z515/K>

炭素繊維をいませんか。(特集)

日経ものづくり 643 2008.4 p.48～71

<Z530/23>

国内排出量国内排出量取引、環境税、新エネ強化は“先送り”「京都議定書目標達成計画」改訂版の最終報告案(特別レポート)／村上朝子 p.52～55

「ポスト京都」では途上国にも最低限の削減義務を成果あげた気候変動枠組み条約締結国会議(COP13)(ゼミナール 環境・CSR) p.64～66

地球環境 467 2008.4

<Z519/P>

地球温暖化の影響予測が示すもの(解説)／三村信男

電気学会誌 60(3) 2008.4 p.235～238

<Z501/S>

京都議定書の課題と地球温暖化対策のあり方(用廃水豆知識 331)／稲森悠平

用水と廃水 50(4) 2008.4 p.301

<Z570.9/Y>

CO2削減に寄与するプラスチック建材 (プラスチック開発海外情報(121) K2007 ハイライト(3)) / 舊橋章

**工業材料** 56(4) 通巻 713 2008.4 p.90~96  
<Z501.4/K6>

持続可能な展開と気候変動(2) (世界のセメント・コンクリート研究のうごき:第 12 回セメント化学に関する国際会議より(その 2)) / 吉野亮悦

**セメント・コンクリート** 734 2008.4 p.60~63  
<Z573/S>

下水道事業における地球温暖化対策(文献レビュー) / 小池順也, 田中亮子, 村山康樹

**下水道協会誌** 45 通巻 546 2008.4 p.43~53  
<Z519.2/N1>

英国の CCS 用 CO2 輸送パイプラインのエンジニアリング課題(天然ガス・パイプライン利用による CO2、H2、バイオガスの輸送(第 6 回)) / 大橋一彦

**配管技術** 50(5) 通巻 666 2008.4 p.57~68  
<Z534.6/H1>

Losing Greenland(グリーンランドがなくなると) / Alexandra Witze

**nature** 452(7189) 2008.4.17 p.798~802  
<Z405/N9>

Influence of the Gulf Stream on the troposphere (メキシコ湾流が対流圏へ及ぼす影響)

/ Shoshiro Minobe, Akira Kuwano-Yoshida, Nobumasa Komori, Shang-Ping Xie, Richard Justin Small

**nature** 452(7184) 2008.3.13 p.206-209  
<Z405/N9>

地球シミュレータセンター研究員の参加する国際チームの研究成果。この号の表紙を飾っています。

空調・給湯機器の省エネルギー化技術の開発状況(特集 空調, 給湯機器の省エネルギーと高機能化) / 飯嶋等, 榎本寿彦, 幸田利秀

**三菱電機技報** 82(3) 通巻 922 2008.3 p.174~178  
<Z540.5/M>

NTT の環境とエネルギーに関する R&D の取り組みと今後の展開 / 丸野透

**電気通信** 71(736) 2008.4 p.27~36  
<Z547/D17>

緊急な国際課題に取り組む「ノンフロン型省エネ冷凍空調システム開発」プロジェクト / 飛原英治

**FOCUS NEDO** 7(4) 28 2008.SPRING p.8~11  
<Z501/60>

温暖化物質の排出量を大幅に削減:「エコ・エアポート基本計画」中期取り組み結果(NAA FLASH)

**Green Port Report** 2008.4 p.12  
<Z687/4>

地球温暖化防止に向けて、地球市民として取り組む / 北口久継, 関澤秀哲 p.1~2

日本鉄鋼業の優れた省エネルギー技術を世界へ広げる / 岡崎照夫 p.3~4

対談 産業界のトップランナーとして地球規模で温暖化問題に挑む / 山口光恒, 山田健司 p.5~8

**Nippon Steel Monthly** 177 2008.4  
<Z564/3>

地球温暖化対策,2013 年以降の将来枠組み検討 / 可児一郎

**ペトロテック** 50(5) 通巻 666 2008.4 p.249~253  
<Z568/P>

バイオ燃料 バイオエタノールは地球温暖化対策になるか?(ウソホント!?環境の科学) / 松永和紀

**日経エコロジー** 106 2008.4 p.75~77  
<Z519/301>

アジア地域におけるグリーンポリマー炭素循環に関する研究 / 河原成元, 山本祥正

**日本ゴム協会誌** 81(4) 2008.4 p.135~140  
<Z578.2/N>

京都大学環境ファクトシート:環境配慮行動マニュアル(研究室脱温暖化編)について(環境保全業務報告) / 酒井伸一, 浅利美鈴, 大岡忠紀

**環境保全** 22 2008.3 p.44~75  
<Z519/3>

バイオエタノール生産における環境負荷削減効果と地域経済効果の計測／林岳  
**農林水産政策研究所レビュー** 27 2008.3 p.6～11  
<Z610/25>

地球温暖化防止のために私たちができること(講演記録)／児玉剛則 p.11～14  
温暖化対策についての一考察(新・須淡レビュー)／ニコラス・須淡 p.15～18  
**環境** 116 2008.3  
<Z519/257>

温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)シンポジウムの報告／太田芳文 p.2～3  
公開シンポジウム「環礁州島からなる島嶼国の持続可能な国土の維持」開催／山野博哉 p.4～6  
気候変動を踏まえた災害予測に関する研究(国内研究機関における地球環境関連の研究計画紹介(9))／松浦知徳 p.7～8  
太陽の黒点数の変化と気温の変化…(ココが知りたい温暖化 17-1)／野沢徹 p.9～10  
京都議定書では「排出権取引」と…(ココが知りたい温暖化 17-2)／日引聡 p.11～13  
京都議定書の第一約束期間がスタート／酒井広平 p.14  
地球温暖化観測推進事務局(オフィス活動紹介)  
**地球環境研究センターニュース** 18(12) 2008.3  
<Z519/104>

低コスト水素エネルギー社会の実現に向けて／中原勝 p.5～6  
CO2貯留・隔離技術の動向／曾我眞行 p.25～28  
**ENEOS Technical Review** 50(1) 261 2008.3  
<Z575.5/N>

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第4次評価報告書統合報告書の公表について(環境化学情報)／文部科学省, 経済産業省, 気象庁, 環境省 p.100～107  
2006年度(平成18年度)の温室効果ガス排出量速報値について(環境化学情報)／環境省地球環境局地球温暖化対策課 p.108～111  
**環境化学** 18(1) 通巻68 2008.3  
<Z519/282>

排出権取引を生かす道／D. G. ビクター, D. カレンウオード  
**日経サイエンス** 38(4) 通巻440 2008.3 p.62～71  
<Z405/S>

空港におけるCO2排出量の算出手法の開発と削減方策の提案に向けて(環境と調和した社会の実現)／丹生清輝, 磯部賢 p.58  
CO2削減便益、人的損失額の公共事業評価への適用(国づくりを支える総合的な手法の確立)／溝口宏樹, 重高浩一, 山口行一 p.76  
**国総研アニュアルレポート** 7 2008.3  
<Z505/187>

全球雲解像モデル NICAM の開発と展望／富田浩文  
**Frontier Newsletter** 33 2008.3 p.2～3  
<Z450/20>

排出権取引:排出権取引制度再考(今月のキーワード)／松尾直樹 p.25  
セメント業 セメント業における省エネ対策・温暖化対策(業種別省エネルギー最前線)／細谷俊夫 p.76～79  
東京都のCO2排出量取引制度(Energyジャーナル)／肥塚清光 p.93  
**省エネルギー** 60(3) 2008.3  
<Z501/S>

ゴルフ場のバイオマスの有効利用と地球温暖化防止について／縣和一  
**西日本グリーン研究所** 65 2008.3 p.1～3  
<Z613/16>

地球温暖化防止に向けた富士通グループの取り組み(特集 環境)／川口清二, 角野夕一, 藤井正隆  
**Fujitsu** 59(2) 通巻345 2008.3 p.169～173  
<Z547/F1>

座談会 地球温暖化:京都議定書とその達成策／住明正, 花木啓祐, 原沢英夫, 松橋隆治, 藤谷徳之助  
**予防時報** 233 2008.3 p.28～37  
<Z339/Y>

大きい理論と現実のギャップ:欧米に見る環境税・排出権取引の実態(徹底分析)／若林雅代, 杉山大志

**エネルギーレビュー** 28(3) 通巻 326 2008.3 p.38～42  
<Z501/E>

工場エネルギーコストの削減と CO2 排出量削減の両立(特集 ディ스플레이産業の環境対策)／安部裕人

**ディスプレイ** 14(3) 通巻 154 2008.3 p.12～18  
<Z549/50>

最新の凝集剤技術による温室効果ガス排出低減への貢献(特集 水と化学工業)／森康治

**JETI** 56(3) 2008.3 p.67～69  
<Z568/J>

地球温暖化現象に学ぶ物理化学の基礎(3)(化学基礎講座)／中田宗隆

**現代化学** 444 2008.3 p.45～50  
<Z430/G>

生物地球化学モデルの現状と未来:静的モデルから動的モデルへの展開／佐藤永

**日本生態学会誌** 58(1) 2008.3 p. 11～21  
<Z468/9>

温暖化と淡水の供給量(新・環境倫理学15)／加藤尚武

**生活と環境** 53(3) 通巻 623 2008.3 p.61～64  
<Z498/S>

地球温暖化問題に対するサステナビリティサイエンスの研究動向:IPCC 第四次評価報告書に対する日本の貢献度から見た課題(科学技術動向研究)／前田征児, 日引聡

**科学技術動向** 84 2008.3 p.10～23  
<Z505/166>

家電の部材が省エネ住宅に、温暖化対策で普及を後押し(技術事始 断熱材)／相馬隆宏

**日経エコロジー** 105 2008.3 p.49～51  
<Z519/301>

シンポジウム「気候変動と農業・食料生産」(あん・まくどなるどの列島ウオッチ第3回・番外編)

**グローバルネット** 208 2008.3 p.16～19  
<Z519/414>

地球温暖化対策の現状と今後の課題(特集 燃費向上への挑戦)／西尾匡弘

**自動車技術** 62(3) 2008.3 p.4～9  
<Z539/Z>

原油高、温暖化対策。大きく塗り替わる世界の「原発地図」(報道特集 乾坤一擲! 原子カルネサンスを逃すな) p.22～25

どうなる“ポスト京都” その結果を占う(覆面座談会) p.44～49

**エネルギーフォーラム** 639 2008.3  
<Z501/E3>

京都議定書目標達成計画(改定案)解説資料／内閣官房 p.1～7

京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終報告／環境省 p.8～28

地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案／環境省 p.124～126

**官公庁環境専門資料** 43(2) 2008.3  
<Z519/K3>

古河スカイ(株)における温暖化対策(特集 天然ガス化燃料転換の最前線)／山下陽一

**クリーンエネルギー** 17(3) 通巻 188 2008.3 p.13～16  
<Z501/33>

シャープ/シャープ 亀山工場が地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞

**OHM** 95(3) 通巻 1185 2008.3 p.58～60  
<Z540/O>

途上国 温暖化への適応やリスクへ関心高く 30カ国から環境都市集結: COP13 サイドイベント(月刊 環境自治体 3月号)／村上朝子

**地球環境** 39(4) 通巻 466 2008.3 p. 58～60  
<Z519/P>

電子デバイス製造用クリーンルームにおける室内  
系統水噴霧加湿の研究(第1報)省エネルギー効  
果の検証／植村聡, 飯嶋和明, 鈴木康司, 高橋  
研, 大見忠弘

空気調和・衛生工学会論文集 132 2008.3 p.11  
～20  
<Z528/K4>

地球温暖化対策に貢献する地域エネルギーソ  
リューション (特集 地域に貢献する日立グルー  
プの公共ソリューション)／織田隆士, 紅林利彦, 三  
村英之

日立評論 90(3) 通巻1034 2008.3 p.76～79  
<Z540.5/H>

既存住宅ストックの活用による環境負荷削減効果  
に関する研究:福岡県におけるCO<sub>2</sub>排出量削減  
対策の検討／細木翼, 高井智広, 高口洋人, 渡  
辺俊行

日本建築学会環境系論文集 625 2008.3 p.409  
～413  
<Z520/N>



## ☆ 環境報告書・CSR

当館では、各企業や団体からご寄贈いただいで  
いる **586 種**の環境報告書及び CSR (Corporate  
Social Responsibility: 企業の社会的責任) レポートを  
3階科学技術室に公開しております。  
ご利用をお待ちしております。

インターネット情報

環境報告書プラザ (経済産業省による)

<http://www.ecosearch.jp/>

## ☆ 講演論文集

誌名 発行年月  
<当館請求記号>

エネルギー・資源学会研究発表会講演論文集  
CD-ROM版 2007.6

<Z452/22>

材料とプロセス 2007.9

<Z564/8>

[日本機械学会]年次大会講演論文集 2007.9

<Z530/4>

空気調和・冷凍連合講演会講演論文集 2008.4

<Z528/K8>

環境システム研究論文発表会講演集 2007.10

<Z519/329>

日本化学会年会講演予稿集 2008.3

<Z430/N>

廃棄物学会研究発表会講演論文集 2007.11

<Z519/296>

資源・素材 企画発表・一般発表(A～D)資料  
2007.9 <Z501/48>

電気学会全国大会講演論文集 2008.3

<Z540/D11>

電子情報通信学会総合大会講演論文集 2008.3

<Z547/D14>

日本原子力学会春の年会予稿集 CD-ROM版  
2008.3 <Z533/N3>

化学工学会年会・秋季大会研究発表講演要旨集

2008.3 <Z571/K1> 2007.9 <Z571/7>

日本水環境学会年会講演集 2008.3

<Z519/S9>

大気環境学会年会講演要旨集 2007.9

<Z519/T7>

日本金属学会講演概要 2007.9

<Z563/N3>

日本物理学会講演概要集 2008.3

<Z420/N>

溶接学会全国大会講演概要 2008.3

<Z566/Y1>

エレクトロニクス実装学会講演大会講演論文集

2008.3 <Z541/2>

日本エネルギー学会大会講演要旨集 2007.8

<Z501/43>

## ☆ インターネット情報

環境省地球環境局（地球温暖化対策課）

<http://www.env.go.jp/earth/>

気候変動枠組条約 UNFCCC

<http://unfccc.int/2860.php>

気候変動に関する政府間パネル IPCC

<http://www.ipcc.ch/>

地球温暖化観測推進事務局 OCCO（環境省・気象庁）

<http://occo.nies.go.jp/>

環境省 チーム・マイナス6%

<http://www.team-6.jp/>

外務省 地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/kiko/>

外務省 美しい星50（クールアース50）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/kiko/coolearth50/index.html>

国立環境研究所

<http://www.nies.go.jp/>

環境再生保全機構

<http://www.erca.go.jp/>

地球シュミレータセンター

<http://www.es.jamstec.go.jp/index.html>

全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org/>

産業技術総合研究所 環境・エネルギー

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/field/4environment.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/field/4environment.html)

地球環境産業技術研究機構（RITE）

<http://www.rite.or.jp/>

地球環境研究センター

<http://www-cger.nies.go.jp/index-j.html>

東京大学気候システム研究センター

<http://www.ccsr.u-tokyo.ac.jp/>

海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター

<http://www.jamstec.go.jp/frgcg/jp/index.html>

地球環境パートナーシッププラザ（GEIC）

<http://www.geic.or.jp/geic/>

温室効果ガスインベントリオフィス（GIO）

<http://www-gio.nies.go.jp/index-j.html>

日本エネルギー経済研究所

<http://eneken.ieej.or.jp/>

日本環境協会

<http://www.jeas.or.jp/index.html>

農業環境技術研究所

<http://www.niaes.affrc.go.jp/>